

04款	衛生費	01項	保健衛生費	01目	保健衛生総務費															
事業名					水道事業会計補助金	単位：円														
事業内容	地理的要因による料金格差の是正を行うとともに、簡易水道事業の資本費負担を軽減し、水道事業会計の健全化を図るため、一般会計から補助金を支出する。			計	基本料金（月額） 5 m3まで 1,800円 6 m3から10m3まで 2,400円															
				画	超過料金 （10m3を超える額） 1 m3につき 210円															
成果	簡易水道事業の資本費負担を軽減し水道料金の高騰を防ぐことができた。水道事業会計の健全化が図られた。			実	基本料金（月額） 5 m3まで 1,800円 6 m3から10m3まで 2,400円															
				績	超過料金 （10m3を超える額） 1 m3につき 210円															
予	算	額	決	算	額	財	源	内	訳											
						国	県	支	出	金	地	方	債	そ	の	他	一	般	財	源
166,382,000		165,343,000		0		0		0		165,343,000										

04款	衛生費	01項	保健衛生費	01目	保健衛生総務費																								
事業名					水道ビジョン推進事業費	単位：円																							
事業内容	遠野市水道事業基本計画（水道ビジョン）に基づき、災害対策の観点から実施する老朽した水道管路の耐震化事業に対し出資を行う。 また、小規模給水施設の水質管理と安定した給水のために、ろ過池更生と加圧ポンプ設備の更新を行う。			計	上水道管路耐震化事業																								
	【上水道管路耐震化事業】 上郷工区、早瀬工区				画	2件																							
成果	【小規模受託給水施設等設備改良事業】 琴畑浄水場緩速ろ過池更生・橋梁改修工事 廻立加圧ポンプ場加圧ポンプ設備更新工事			画	小規模受託給水施設等設備改良事業																								
					値	2件																							
成果	上水道の2工区で計2,411mの耐震管が布設替えされ耐震化が図られた。 琴畑浄水場のろ過池更生及び橋梁改修が行われたほか、廻立加圧ポンプ場の加圧ポンプが更新され、引き続き安全でおいしい水の安定供給が可能になった。			実	上水道管路耐震化事業																								
	【上水道管路耐震化事業】 上水道配水管布設替（上郷工区） 75 L= 1,643m、 100 L= 578m 上水道配水管布設替（早瀬工区） 150 L= 190m				績	2件																							
予	算	額	決	算	額	財				源				内				訳											
						国		県		支		出		金		地		方		債		そ		の		他		一	
27,961,000		27,494,500		0		16,000,000		0		11,494,500																			

04款	衛生費	01項	保健衛生費	01目	保健衛生総務費	
事業名					すこやか子育て保健事業費	単位：円
事業内容	<p>すべての子どもが健やかに生まれ育つことのできるよう妊産婦及び乳幼児に対する訪問指導、健康診査などをきめ細かに行うことで、母親の育児不安を軽減し、安心して子育てすることができるよう支援する。</p> <p>1 家庭訪問（妊産婦・乳幼児への専門職による訪問指導） 2 健康診査（妊産婦・乳幼児の健康診査及び歯科健康診査） 3 健康相談（健康相談、随時の電話相談等） 4 健康教育（歯科相談、離乳食指導等）</p>			計	産後家庭訪問実施率 100% 3歳児むし歯罹患率 32%以下	
	成果	<p>1 家庭訪問 妊産婦及び乳幼児の全員（長期入院や里帰り者を除く）の家庭訪問を実施し、心身状況や養育環境等に応じた支援を行い、育児不安の軽減に努めた。 2 各種健診・相談等 疾病予防や早期発見のための健診や相談場面での育児支援により子どもの健やかな成長を支援した。 3 歯科保健 3歳児のむし歯罹患率は30.5%と減少傾向にあり、生後6カ月から半年毎の歯科指導を継続してきた成果が現れている。</p>			実績値	産後家庭訪問実施率 100% 3歳児むし歯罹患率 30.5% 各種健診受診率 98.7% 乳幼児健診 48回 乳幼児相談 30回
予算額	決算額	財源内訳				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
25,452,000	23,891,093	426,000	0	0	23,465,093	

04款	衛生費	01項	保健衛生費	01目	保健衛生総務費	
事業名					妊産婦サポート事業費	単位：円
事業内容	<p>妊産婦が安心・安全に妊娠、出産、育児ができるよう支援する。</p> <p>1 妊産婦通院費助成 市内に出産可能な医療機関がないことから妊産婦の経済的負担の軽減と妊婦健診の受診率の向上を図るため、市外に通院する妊産婦の通院費を助成する。 2 子育て教室 育児中の母親への支援として、子育て教室を開催し育児不安やストレスの軽減を図る。</p>			計画値	通院費助成件数 200件 子育て教室 4回	
	成果	<p>1 妊産婦通院費助成 妊産婦に対し妊婦及び産後健診の受診回数に応じた交通費を助成し、経済的負担を軽減し定期的な健診の受診の一助となり、安心・安全な出産・育児を支援した。 2 子育て教室 育児中の母親を対象にエアロピクス（託児実施）や親子の手遊びなどの子育て教室を開催した。母親同士の交流や情報交換、運動により育児の不安の解消や子育てのストレスの解消に努めた。</p>			実績値	通院費助成件数 177件 子育て教室 4回
予算額	決算額	財源内訳				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
3,462,000	3,197,995	0	0	0	3,197,995	

04款 衛生費		01項 保健衛生費		01目 保健衛生総務費		
事業名 不妊治療支援事業費					単位：円	
事業内容	子どもが欲しいと希望している夫婦に対し、特定不妊治療（体外受精や顕微授精）の治療費の一部を助成することにより、経済的負担の軽減を図る。助成額は、夫婦一組に対し、一年度当たり治療費1回につき上限15万円まで、年2回（初年度に限り3回）を限度に通算5年度を対象とする。			計 画 値	治療費助成数	20件
	成果	特定不妊治療は、健康保険の適用外のため、高額な治療費が自己負担であり1回の治療で成果を得ることが難しい治療である。交付対象者は、県の助成金の対象者であり、中部保健所と連携し事業の周知を図った。少子化対策の観点からも子どもが欲しいと希望する夫婦に対する支援（15人）により、積極的に治療を受けやすい環境の整備に努めた。			実 績 値	治療費助成数
予 算 額		決 算 額	財 源 内 訳			
			国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
3,010,000	2,841,190	0	0	0	2,841,190	

04款 衛生費		01項 保健衛生費		01目 保健衛生総務費		
事業名 助産院ねっと・ゆりかご推進事業費					単位：円	
事業内容	1 市内にお産を扱う医療施設がないため、助産院活動を通して妊産婦とその家族の不安と身体的・経済的な負担軽減を図る。			計 画 値	遠隔妊婦健診等利用率	60%
	2 連携医療機関との協力体制を整備し、遠隔妊婦健診を実施する。				妊婦教室実施回数	24回
成果	3 健康教育・妊婦訪問を行い、妊産婦の健康保持増進を図るとともに安心して出産ができる環境づくりを支援する。			実 績 値	妊婦教室参加率	25%
	1 助産院における遠隔妊婦健診等の利用者数は、106人（うち市外利用者15人）であり、健診等利用者数は延べ271人（月平均22.6人）、相談者数は延べ623人（月平均51.9人）であった。				両親教室実施回数	8回
2 妊婦教室・両親教室を開催し、妊娠中の健康教育と父親の育児参加の支援を図った。			実 績 値	両親教室の夫の参加率	20%	
3 妊婦訪問を行い、入院するタイミング、緊急対応、産後の経過、諸手続等について指導を行い、妊産婦の不安軽減に努めた。				妊婦訪問実施率	50%	
予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源	
5,082,000	4,113,025	0	0	40,500	4,072,525	

04款	衛生費	01項	保健衛生費	01目	保健衛生総務費				
事業名 周産期救命スタッフ養成等医療体制整備事業費					単位：円				
事業内容	1 新生児蘇生法講習会を開催し、周産期救急に関わるスタッフのスキルアップを図る。新生児蘇生法の知識・技術を持ったスタッフが県内に多く配置されることにより、市外に通院する妊産婦の安心を高める。			計	新生児蘇生法講習会 12回				
	2 岩手県周産期医療情報ネットワークシステム「いーはとーぶ」操作講習会、「超音波診断装置操作講習会」及び「いわて周産期医療フォーラムIN遠野」を開催し、周産期医療関係者のスキルアップを図る。				いーはとーぶ操作講習会 2回				
成果	1 新生児蘇生法講習会を開催し、医療職57人、救急救命士等32人、計89人が受講し、知識・技術を持ったスタッフの県内の配置が図られた。			実	超音波診断装置操作講習会 6回				
	2 県内の周産期救急に関わるスタッフを対象に、「岩手県周産期医療情報ネットワークシステム「いーはとーぶ」操作講習会」（受講者25人）、「超音波診断装置操作講習会」（受講者32人）、「いわて周産期医療フォーラムIN遠野」（参加者 132人）を開催し、周産期医療関係者のスキルアップを図った。				周産期医療フォーラム 1回				
予	算	額	決	算	額	財 源 内 訳			
						国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
10,316,000	9,911,974	9,906,000	0	0	5,974				

04款	衛生費	01項	保健衛生費	01目	保健衛生総務費				
事業名 地域医療環境整備事業費					単位：円				
事業内容	1 一般社団法人遠野市医師会に委託し、休日救急医療診療を確保する。			計	休日救急医療診療 70日				
	2 遠野歯科医師会に委託し、日曜急患歯科診療を確保する。				日曜急患歯科診療 52日				
成果	3 岩手中部医療圏における休日及び夜間の第2次救急医療を確保する。			画	救急医療講演会 1回				
	4 市内の医師不足を解消するため、県立遠野病院勤務医及び市内開業医の新規着任に向けた医師の招へい活動を実施する。				医療講演会 1回				
予	算	額	決	算	額	財 源 内 訳			
						国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
14,444,000	13,278,550	0	0	326,171	12,952,379				

04 款	衛生費	01 項	保健衛生費	01 目	保健衛生総務費
事業名		ICT健康づくり事業費			単位：円
事業内容	<p>1 ICT健康づくり事業</p> <p>(1) 自発的な疾病予防をはじめ健康づくりのコミュニティ化を推進していくため、テレビ電話等の情報通信技術（ICT）を活用する。定期的に地区センター等で健康状態を計測し、遠隔参加の医師と看護師等のメディカルが連動した遠隔健康指導・相談等による健康づくりを実施する。</p> <p>(2) 電子手帳の活用により、市民が「健康づくり」と「自立した生活」へ関心を持てるようにする。</p> <p>2 健康づくりサポーター事業</p> <p>地域の健康づくりを担う健康づくりサポーターの養成と育成を行い、健康づくりサポーターがライフステージに沿った食生活改善や運動普及に取り組む体制づくりを支援する。</p>			計 画 値	<p>市民参加者 520人</p> <p>活動拠点 18会場</p> <p>巡回指導 延べ 905回</p> <p>介護事業連携 延べ17回</p> <p>すこやか親子電子手帳登録者 300人</p> <p>健康づくりサポーターが普及啓発した割合 60%</p>
	<p>1 ICT健康づくり事業</p> <p>(1) 遠野テレビなどのインターネット回線を活用して、ICTによる健康づくりを市内22会場で実施（歩数・血圧・体組成等の計測、血液検査結果等健康情報の蓄積、医師等による遠隔健康指導）したほか、被災者の健康管理とサポートも行った。 また、遠野市健康づくり総合プログラムに位置づけ、地区センター等を活動拠点とした健康づくりのネットワーク化の推進を図った。</p> <p>(2) 健康情報のネットワーク化のシステムを活用し、電子手帳の着実な運用に努めた。</p> <p>2 健康づくりサポーター事業</p> <p>(1) 栄養改善（啓発・普及） 高齢者を対象にした低栄養予防や市内企業の従事者健診後の結果説明（個別及び集団）などを支援した。 ・個別指導 15人、集団指導 16回（延べ 696人に支援）</p> <p>(2) 健康づくりサポーター養成教室（元気・楽しくミニ健康塾）を3会場で開催した。（延べ 102人参加）</p> <p>(3) 組織育成 ・食生活改善推進員研修会 9回（延べ 106人参加） ・運動普及推進員研修会 6回（延べ 303人参加）</p> <p>(4) 組織による普及活動 ・食生活改善活動 2,734回（延べ 17,739人） ・運動普及活動 40回（延べ 1,984人）</p>			実 績 値	<p>市民参加者 499人</p> <p>活動拠点 22会場</p> <p>巡回指導 延べ1,011回</p> <p>介護事業連携 延べ19回</p> <p>すこやか親子電子手帳登録者 421人</p> <p>健康づくりサポーターが普及啓発した割合 60.9%</p>
予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
40,612,000	37,543,196	0	0	27,660,600	9,882,596

04款	衛生費	01項	保健衛生費	01目	保健衛生総務費	
事業名						単位：円
安産の里とおの周産期医療環境整備事業費						
事業内容	市内にお産を扱う施設がないことから、周産期医療の環境の整備を図るため、産婦人科医師の招へい活動を積極的に行う。				計画値	産婦人科医師の招へい活動 5回
	成果	産婦人科医師を招へいするため、産婦人科医師等と面談し意向等の情報収集を積極的に行った。				実績値
予算額		決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
2,025,000	934,057	0	0	0	934,057	

04款	衛生費	01項	保健衛生費	01目	保健衛生総務費	
事業名						単位：円
未熟児養育医療費給付事業費						
事業内容	身体の発達が未熟なままに出生し、入院が必要な乳児（医師が入院による養育を認めた者）の養育に必要な医療費の給付を行い、医療費の負担の軽減を図る。県からの権限委譲により、平成25年度から事業を開始した。				計画値	給付人数 5人
	成果	出生後に入院治療が必要とされた未熟児の医療費の負担の軽減を図った。				実績値
予算額		決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
3,000,000	527,064	452,680	0	74,384	0	

04款 衛生費		01項 保健衛生費		01目 保健衛生総務費		
事業名 子育てするなら遠野構想調査事業費					単位：円	
事業内容	産後ケア体制の構築に向けた関係機関等からの情報収集及び産後の母子が専門的に安心して育児支援が受けられる産後ケアハウスについての調査を行う。			計画値	調査回数 1回	
	成果	核家族化が進んでいる関東圏における産後ケアハウスの利用のニーズ、利用状況、運営方法等について視察・研修し、産後ケア体制の構築に向けた調査を行った。 1 子育てするなら遠野構想に係る調査及び医師招へい活動（1/31～2/2、東京都） 2 地域少子化対策強化セミナー及び産後ケア施設視察研修（2/3、東京都） 3 産後ケア体制と周産期遠隔診断に係る調査及び医師確保に伴う面談（3/21～23、福岡県、長崎県）			実績値	調査回数 3回
予算額		決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
600,000	283,900	0	0	0	283,900	

04款 衛生費		01項 保健衛生費		02目 予防費		
事業名 予防接種費					単位：円	
事業内容	予防接種法に基づき予防接種を実施し、伝染の恐れのある疾病の発生及びまん延を予防する。 1 A類疾病予防接種として、乳幼児、児童生徒を対象に予防接種を実施する。 集団接種...四種混合、三種混合、二種混合、BCG、ポリオ、日本脳炎 個別接種...四種混合、三種混合、麻しん風しん1期・2期 2 B類疾病予防接種として、子ども（生後6カ月～19歳未満）、高齢者（65歳以上）を対象にインフルエンザの予防接種を実施する。 3 妊婦が風しんに感染すると先天性風しん症候群の児が生まれる恐れがあるため、発生防止の緊急の対策として風しん予防接種費用の一部を助成する。			計画値	麻しん風しん2期接種率（個別接種） 100% 二種混合接種率（集団接種） 100% 65歳以上のインフルエンザ予防接種率 60.0% 大人の風しん予防接種助成数 200人	
	成果	1 乳幼児の予防接種は、未接種者に対し健診や相談事業の際に個別指導を実施し、高い接種率により伝染病予防の効果を上げた。 児童生徒の予防接種は、学校の協力のもと集団接種を実施したことにより、児童や保護者の負担が軽減されたほか、高い接種率により伝染病予防の効果を上げた。 2 インフルエンザの予防接種は、生後6カ月～18歳の子ども、65歳以上の方を対象に接種費用の一部を助成し感染予防に努めた。 3 大人を対象とした風しん予防接種は、82人（男性36人、女性46人）が接種し、先天性風しん症候群の発症予防に繋がった。			実績値	麻しん風しん2期接種率（個別接種） 95.3% 二種混合接種率（集団接種） 99.1% 65歳以上のインフルエンザ予防接種率 60.9% 大人の風しん予防接種助成数 82人
予算額		決算額	財源内訳			
			国県支出金	地方債	その他	一般財源
47,887,000	42,760,834	2,292,945	0	0	40,467,889	

04款	衛生費	01項	保健衛生費	02目	予防費		
事業名					子宮頸がん等ワクチン接種事業費	単位：円	
事業内容	<p>予防接種法に基づく予防接種を実施することにより、伝染の恐れのある疾病の発生及びまん延を予防する。平成24年度までは、任意接種として市独自で実施していたが、平成25年度から定期接種となった。</p> <p>A類疾病の予防接種として、乳幼児、児童生徒を対象とした予防接種を実施する。接種は、一定の間隔をおき複数回必要（3～4回）である。</p> <p>集団接種（2カ月～乳児期）：ヒブ（インフルエンザ菌b型） 小児用肺炎球菌</p> <p>個別接種（1歳以上）：ヒブ（インフルエンザ菌b型） 小児用肺炎球菌 子宮頸がん予防（HPV）</p>			計 画 値	<p>接種率（1回目）</p> <p>ヒブ 90%以上 小児肺炎球菌 90%以上 子宮頸がん予防 90%以上</p>		
	成果	<p>1 未接種者に対し乳幼児健診や相談事業の際に個別指導による接種勧奨を行い、接種率の向上に努めた。</p> <p>2 生後間もない2カ月児から接種開始となるヒブと小児用肺炎球菌は、二種類を同時接種することで接種率の向上に努めるとともに、接種を県立遠野病院小児科医師に依頼し、接種に対する母親の不安解消にも配慮した。</p> <p>3 子宮頸がんワクチンは、中学1年生を対象に実施したが、平成25年6月に国の方針の変更により、積極的な勧奨を一時的に控えていることから、接種率は計画値を下回った。</p>			実 績 値	<p>接種率（1回目）</p> <p>ヒブ 93.3% 小児肺炎球菌 94.8% 子宮頸がん予防 26.9%</p>	
予	算	額	決	算		額	財 源 内 訳
				国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
14,100,000		13,309,684		0	0	0	13,309,684

04款	衛生費	01項	保健衛生費	02目	予防費		
事業名					わらすっこ任意予防接種事業費	単位：円	
事業内容	<p>子育て支援の一環として、予防接種法に基づかない任意の予防接種の水痘及びおたふくかぜワクチンの接種を平成25年度から開始する。1歳から小学校就学前までの幼児を対象とし、罹患及び重症化を防止する。</p>			計 画 値	<p>水痘接種人数 676人 おたふくかぜ接種人数 676人</p>		
	成果	<p>1 罹患者を除く幼児を対象として、集団発生やまん延防止に努めた。</p> <p>2 1歳児から2歳児までは、県立遠野病院小児科医による個別接種を勧奨し、接種に対する不安軽減に努めた。3歳以上の幼児は、集団接種を実施した。</p>			実 績 値	<p>水痘接種率 28.7% 水痘接種人数 260人 （うち個別接種 116人） （うち集団接種 144人） おたふく接種率 42.5% おたふく接種人数 460人 （うち個別接種 156人） （うち集団接種 304人）</p>	
予	算	額	決	算		額	財 源 内 訳
				国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源
5,639,000		4,874,707		0	0	0	4,874,707



04款 衛生費		01項 保健衛生費		03目 環境衛生費	
事業名 ごみダイエット事業費					単位：円
事業内容	資源循環型社会の構築を推進するため、遠野市公衆衛生組合連合会が実施する資源ごみのリサイクル、ごみの減量化等に関する事業に対して財政的支援を行う。			計画値	資源集団回収実施団体 40団体
	1	ごみダイエット事業費 3,500千円			
成果	燃えるごみの減量に取り組むため、平成25年度からごみダイエット事業に取り組んだ。 ・ごみ減量スローガンの選定及び啓発 ・衣類回収ボックス購入 また、生ごみ処理機等の購入助成並びに資源集団回収事業に取り組み、可燃ごみの減量と資源の有効活用が図られた。			実績値	資源集団回収実施団体 44団体
	2	ごみ減量化事業 2,300千円 ・生ごみ処理機等購入助成 ・ごみ減量化物品購入助成 ・地域環境美化推進事業 ・生ごみ堆肥化促進剤購入助成 ・資源集団回収奨励金			
予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
5,800,000	5,800,000	0	0	5,800,000	0

04款 衛生費		01項 保健衛生費		03目 環境衛生費	
事業名 「斎場の森」整備事業費					単位：円
事業内容	平成23年度から平成25年度の3カ年計画で「斎場の森」を会場に遠野市緑化祭を開催し、市民の協力をいただき下刈りと植樹を行う。			計画値	下草刈り 1.25ha 苗木の植樹 300本
	平成23年度	地ごしらえ、植樹、下草刈り			
成果	斎場の森周辺の下草刈りを実施。 平成25年11月9日に遠野市緑化祭を開催し、アジサイ300本を植樹した。			実績値	下草刈り 1.25ha 苗木の植樹 300本
	平成24年度	遊歩道の整備、倒木の処理、苗木の植樹			
平成25年度	下草刈り、苗木の植樹				
予算額	決算額	財源内訳			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
1,710,000	1,277,850	0	0	0	1,277,850

04 款	衛生費	01 項	保健衛生費	03 目	環境衛生費		
事業名		浄化槽設置事業費			単位：円		
事業内容	<p>農村地域や郊外においても生活様式の多様化により、家庭から排出される生活雑排水の量が年々増加し、生活環境の悪化や河川等の水質汚濁の要因となっている。</p> <p>そこで、集合処理（公共下水道、農業集落排水）区域外に、し尿と生活雑排水を処理する浄化槽の設置を図ることにより、生活環境の改善及び公衆衛生の向上に寄与する。</p>			計画値	<p>集合処理区域外の浄化槽普及人口当該年度進捗率 1.80%</p> <p>※採用数値は汚水処理計画引用</p> <p>(最終目標基数 3,127基)</p>		
	<p>浄化槽設置により自然環境の保全、公衆衛生の向上及び生活環境の改善に寄与した。また、平成24年度から特定地域型及び集団型浄化槽設置整備事業補助金を設け、浄化槽普及に努めた。</p> <p>【浄化槽設置基数】</p> <p>5人槽 27基=17,286,000円（うち、特定地域3基：集団型6基）</p> <p>7人槽 63基=50,076,000円（うち、特定地域19基：集団型9基）</p> <p>10人槽 2基= 1,995,000円（うち、集団型1基）</p> <p>14人槽 1基= 1,740,000円</p> <p>特定地域：維持管理・敷地外放流管補助 980,000円</p>				実績値	<p>集合処理区域外の浄化槽普及人口当該年度進捗率 2.17%</p> <p>(現時点総設置数 1,246基)</p>	
予算額		決算額		財源内訳			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
73,388,000		73,028,954		21,908,000	0	0	51,120,954

04 款	衛生費	01 項	保健衛生費	04 目	環境保全費		
事業名		再生可能エネルギー設備導入事業費			単位：円		
事業内容	<p>再生可能エネルギー等の地域資源を活用した災害に強い自立分散型エネルギーシステムの導入を促進するため、防災拠点等の施設に再生可能エネルギー設備を導入し、災害等による停電時に必要最小限の電力を賄えるよう整備する。</p> <p>・遠野東中学校太陽光発電設備設計業務委託</p> <p>・遠野東中学校太陽光発電設備設置工事</p> <p>・再生可能エネルギー調査検討業務委託</p>			計画値	<p>実施設計業務委託 1件</p> <p>設備設置工事 1件</p> <p>調査検討業務委託 1件</p>		
	<p>中学校再編により、遠方からスクールバスで通う生徒等の安全・安心を確保するため、優先的に遠野東中学校に太陽光発電設備を整備するため実施設計を行った。</p> <p>なお、太陽光発電設備を設置する倉庫等の建築工事が平成26年度に繰り越したことから、設置工事も併せて平成26年度に繰り越して整備する。</p>				実績値	<p>実施設計業務委託 1件</p>	
予算額		決算額		財源内訳			
				国県支出金	地方債	その他	一般財源
39,338,000		945,000		0	0	0	945,000

04款	衛生費	01項	保健衛生費	04目	環境保全費
事業名					単位：円
自然環境保全事業費（緑越明許費）					
事業内容	<p>早池峰山付近にある避難小屋の小田越山荘トイレが老朽化し、汲み取りが困難な場所であることから、長年の使用で便槽が満杯となりトイレを閉鎖していたが、し尿等の汲み取りと便槽埋め戻し工事を行い、環境保全等に配慮した携帯トイレ専用ブースに改修する。</p> <p>平成24年度中は請負業者がなく、関係団体等の協議も整わず平成25年度に繰り越した。</p>			計 画 値	し尿運搬手数料 1件
					し尿収集業務 1件
成果	<p>避難小屋である小田越山荘トイレについて、関係団体との協議が整い、トイレのし尿等の汲み取りと埋め戻し工事を行い、携帯トイレ専用ブースとして利用できるよう改修した。</p> <p>同じく汲み取りが困難な早池峰山山頂トイレも携帯トイレ専用に移行しようとしている事から、県や関係団体とも連携し、今後も早池峰山付近の環境保全を図る。</p>			実 績 値	し尿運搬手数料 1件
					し尿収集業務 1件
予 算 額		決 算 額		財 源 内 訳	
				国 県 支 出 金	地 方 債
1,297,000		1,283,100		0	0
				そ の 他	一 般 財 源
				0	1,283,100

04款	衛生費	01項	保健衛生費	05目	健康づくり推進事業費
事業名					単位：円
生活習慣病予防プログラム推進事業費					
事業内容	<p>健康増進法及びがん対策基本法に基づき、一次予防(健康増進・疾病予防)及び二次予防(早期発見・早期治療)に重点をおいた事業を実施する。</p> <p>1 健康診査：各種がん検診(胃・大腸・肺・乳腺・子宮・前立腺)骨粗しょう症予防検診、成人歯科健診、肝炎ウイルス検診、基本健康診査、結核健診を実施する。</p> <p>2 健康手帳の交付：40～60歳の節目年齢を対象に交付する。</p> <p>3 健康教育：健康講座、地域、事業所等での健康づくり教室を開催する。</p> <p>4 健康相談：健診事後の個別相談に対応する。</p> <p>5 訪問指導：要指導者への保健指導を実施する。</p> <p>6 地区組織活動：保健推進委員、運動普及推進員などの地域で健康づくりを担うサポーターの育成及び支援を行う。</p>			計 画 値	がん検診(胃・大腸・肺・乳腺・子宮) 受診率：50%
					健康手帳交付数 350件
成果	<p>1 がん検診は、受診者の便宜を図るため一度に複数種類の検診を行うセット検診を実施した結果、大腸がん検診の受診率が向上した。就労世代の受診者の増加を目的に節目年齢への無料クーポン券の配布、休日や夕方の時間帯の検診の継続、追加日程の検診を行い受診機会の拡大を図った。</p> <p>毎年約30人のがん疾患を発見し早期治療に結びつけているほか、未受診者に対し家庭訪問や電話による受診勧奨を強化した。</p> <p>2 検診の結果で事後指導が必要な場合は、健康相談・家庭訪問による個別指導を実施し、生活習慣の改善及び疾病予防、重症化の防止を図った。</p> <p>3 地域の関係団体の参集機会や市内事業所が行う健康増進事業等の機会を捉え、健康教育を実施し、健康増進・疾病予防の普及啓発を図った。</p> <p>4 健康づくりサポーターによる地域レベルでの健康増進活動を展開した。</p>			実 績 値	がん検診(胃・大腸・肺・乳腺・子宮) 受診率 21.2～35.0%
					健康手帳交付数 403件
予 算 額		決 算 額		財 源 内 訳	
				国 県 支 出 金	地 方 債
62,954,000		60,430,303		4,701,000	0
				そ の 他	一 般 財 源
				9,332,650	46,396,653

04 款	衛生費	01 項	保健衛生費	05 目	健康づくり推進事業費
事業名		健康スポーツプログラム推進事業費			単位：円
事業内容	1 遠野市健康づくり総合大学「とすぼ」による健康づくり教室を本校（市民センター）及びサテライト校（地区センター）で実施し、定期的に運動する機会を提供することで、健康増進・意識づけを図る。			計 画 値	健康づくり教室 ・本校 96回 ・サテライト校 65回 ・とすぼ大学祭 1回
	2 子どもの体力、運動能力の向上を目指すとともに、運動する習慣づけを図る。				チャレンジ徒歩通学 11校 キッズ元気アップ応援隊 13カ所
成果	1 遠野市健康づくり総合プログラムの健康づくり教室を実践し、継続的に教室を開催することで、健康増進を図るとともに、健康づくりの意識づけを行った。			実 績 値	健康づくり教室 ・本校 119回 ・サテライト校 58回 ・とすぼ大学祭 1回
	2 小学生の体力づくりのため「チャレンジ徒歩通学」を全小学校で取り組み、就学前の子どもたちには「キッズ元気アップ応援隊」として保育園等に講師を派遣し、リズム体操などを行い、体力アップ、運動することの楽しさを伝えた。				チャレンジ徒歩通学 11校 キッズ元気アップ応援隊 14カ所 キッズエアロビック教室 6回
予算額		決算額		財源内訳	
4,083,000		3,311,816		国県支出金 0	地方債 0
				その他 576,600	一般財源 2,735,216

04 款	衛生費	02 項	清掃費	01 目	清掃総務費
事業名		岩手中部広域行政組合負担金			単位：円
事業内容	花巻市、北上市、遠野市、西和賀町の3市1町で構成する岩手中部広域行政組合において、平成27年10月の稼働を目標に進めている岩手中部地区の一般廃棄物処理施設の建設に向けて、各種委託業務及び人件費等を負担する。			計 画 値	業務委託 2件 施設建設工事 2件
	成果	1 (仮称)岩手中部広域クリーンセンター整備及び運営事業建設工事着手			業務委託 2件
2 遠野地区中継施設整備事業に係る発注仕様書等作成業務委託が完了し、(仮称)遠野地区中継施設建設工事、(仮称)遠野地区中継施設建設工事設計施工監理業務委託を締結した。			実 績 値	施設建設工事 2件	
予算額		決算額		財源内訳	
83,922,000		83,921,176		国県支出金 0	地方債 0
				その他 0	一般財源 83,921,176

04款 衛生費		02項 清掃費		02目 塵芥処理費			
事業名 農林業系副産物焼却処理事業費						単位：円	
事業内容	平成23年3月11日に発生した東京電力福島第一原子力発電所事故による放射能物質に汚染された牧草を、1日あたり1.5トンを目途として一般可燃ごみと混焼し、焼却灰を最終処分場へ埋め立て処理する。（平成24年11月29日から焼却開始）			計画値	牧草焼却量(年間) 324 t ... 1日平均1.35 t × 240日 (月～木曜日 24時間運転 1.5 t /日、金曜日 12時間 運転0.75 t /日)		
	成果	放射能汚染により使用ができなくなった農林業系副産物である牧草を、一般可燃ごみと混焼し、焼却灰は最終処分場へ埋立てすることにより、計画数量分を処理することができた。 なお、処理にあたっては環境省のガイドラインにより放射性物質濃度を測定し公表を行ったが、焼却施設及び最終処分場周辺の空間線量並びに最終処分場の放流水についての測定・分析結果に問題はなかった。			実績値	牧草焼却量(年間) 327.68 t	
予算額		決算額	財源内訳				
			国県支出金	地方債	その他	一般財源	
28,511,000	24,432,429	12,661,699	0	0	11,770,730		

04款 衛生費		02項 清掃費		03目 し尿処理費			
事業名 汚泥再生処理センター整備事業費						単位：円	
事業内容	将来のし尿・浄化槽汚泥の処理施設整備のために、一般廃棄物(生活排水)処理基本計画を策定する。			計画値	基本計画策定 1件		
	成果	「遠野市一般廃棄物(生活排水)処理基本計画」を策定した。本計画は、遠野市汚水処理基本計画等、直近の関連する計画と整合を図りながら、平成26年度を始期とする向こう10年間(平成35年度まで)の発生量及び処理量の予測を行い、処理方針を定めた。今後の施設基本計画策定のための基礎データがまとまった。			実績値	基本計画策定 1件 (平成26年1月策定)	
予算額		決算額	財源内訳				
			国県支出金	地方債	その他	一般財源	
3,400,000	3,045,000	0	0	0	3,045,000		

